

回覧												

垂水市農林技術協会だより

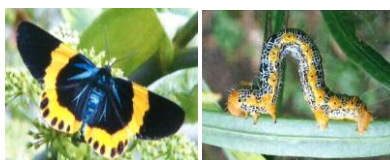
第4号：令和5年7月1日発行

発行・事務局：垂水市農林課

問合せ先：32-1224（直通）

● 内容

- ・野鳥の捕獲禁止に関するお知らせ
- ・農業用廃プラスチック（廃ビニール）類等の回収について
- ・キオビエダシャク幼虫駆除用薬剤を無償で配布しています
- ・令和5年度かごしま営農塾「就農準備コース」受講者の募集について
- ・各種病害虫の対策について
- ・さつまいも基腐病対策について（7月～8月）



キオビエダシャク

農林技術協会だよりは市のホームページでも掲載しています



野鳥の捕獲禁止に関するお知らせ

現在メジロ・ホオジロ等を含む野鳥の捕獲及び飼養は禁止されています。万が一捕獲行為を行った場合、違反行為として厳しい罰則規定がありますのでご注意ください。なお、現在「メジロ飼養許可」（有効期間1年）を受け、飼養されている方については、現在飼養中の個体に限り飼養が認められますが、「飼養許可」の更新手続きを怠った場合は「違法飼養」として処罰されますので、必ず許可期限内に更新手続きを行ってください。

- ◆ 根拠法令 鳥獣の保護および管理並びに狩猟の適正化に関する法律
- ◆ 罰則規定 野鳥を違法に捕獲
⇒1年以下の懲役または100万円以下の罰金刑
- ◆ 許可手続 (1) 受付 農林課林務耕地係
※以前から許可を受けている方のみ
(2) 登録手数料 3,400円



メジロ



ホオジロ

農業用廃プラスチック（廃ビニール）類等の回収について

農業用廃プラスチック類等は産業廃棄物に指定されており、排出事業者(農家)の責任で適正に処理することが義務づけられています。当協議会で農業者の負担を軽減するため、年に数回廃プラ等の回収を実施しております。

つきましては、下記の通り実施しますのでお知らせします。

なお、**分別や梱包が適正でない場合は、そのまま持ち帰って頂くか、分別・梱包をやり直していただく場合があります。**

◆ 回収日時 **令和5年7月26日(水)** 予備日：8月2日(水)
午前8時～12時【小雨決行予定】

◆ 場所 鹿児島きもつき農協垂水支所野菜集荷場（山田水産隣）

◆ 回収する廃プラ等の種類

種類	負担金	回収条件
農業用 廃プラスチック類	40円/kg	塩化ビニール (農ビ/ハ°イ°等) 種類別に梱包して持ち込んでください ※塩ビパイプ等は1m以下に、コンテナ等の容器は裁断してください
		ポリエチレン (マルチ/肥料袋/コンテナ等) 中を洗浄した後ラベルをはがし、キャップ・ラベルと容器は、別々の透明袋に入れてください
		農薬容器
農薬 空き缶等	一斗缶・消毒缶 中身が空で洗浄・乾燥済みのもの(ラベルははがす) 缶の重量が1個約2kg以下のもの	
その他	廃農薬類 550円/kg	

◆ 持参するもの 負担金及び印鑑

◆ その他

- ・本回収は、上記以外の一般廃棄物及び産業廃棄物の回収は行いません。
- ・梱包方法等については、下記の間合せ先又は垂水市農林課振興係 (TEL:32-1224) にお願ひします。

問合わせ先：垂水市農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会事務局
(鹿児島きもつき農協垂水支所 営農購買チーム内) 電話 32-1121

キオビエダシヤク幼虫駆除用薬剤を無償で配布しています

イヌマキの食害防除に地域ぐるみで取組む振興会を支援するため創設した「キオビエダシヤク防除対策事業」を実施しています。

【事業の対象】

振興会内のイヌマキが定植された世帯が対象となります。
※薬剤散布の同意を得た空き家も対象



【事業内容】

〈幼虫駆除用薬剤〉

対象世帯1世帯につき薬剤（ロックオン）1本（100ミリリットル）を限度に、予算の範囲内で無償配布します。

※ロックオンの特徴は

気象条件により変動しますが、約3カ月程度の効果があります。

〈噴霧器（手動）〉

噴霧器が必要となる振興会におかれましては、無償で貸出を行いますので申請ください。（※原則1振興会に1台まで）

【申請方法は】

振興会は、事業対象世帯を取りまとめの上、市役所農林課林務耕地係に申請書を提出して、薬剤等を受け取ってください。その際に印鑑及び身分証明書（運転免許証など）が必要となりますのでご持参ください。

※申請書は、本庁農林課にあります。

【作業が完了したときは】

実施報告書に写真（作業状況）を貼付して速やかに提出ください。

【申請期間】

令和5年4月3日（月）～ 実施中です

【留意事項】

- 申請は、1振興会あたり1回までとなります。
- 空容器等は、年に数回実施される廃プラ等の回収時に出すなど適正に処理してください。
- 配布する駆除薬剤は用法及び用量に従い使用すること。

年4～5回発生します！！
イヌマキの食害にお困りの
振興会 必見！！



薬剤名	希釈倍数	使用液量 (10aあたり)	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	同じ有効成分を含む 農薬の総使用回数
ロックオン	1000倍	200～700ℓ	発生初期	2回以内	散布	2回以内

◇お問い合わせ 農林課 林務耕地係 0994-32-1224

令和5年度かごしま営農塾「就農準備コース」受講者の募集について

農業の基礎知識や技術の取得等を目的とした「就農準備コース」の受講者を募集します。応募方法等については、下記募集チラシをご覧ください。

新たに就農をめでする人に

令和5年度受講者募集

かごしま営農塾「就農準備コース」

野菜栽培の講義 は種の実習 収穫の実習

1. 研修場所

鹿児島県立農業大学校

2. 研修期間

令和5年8月24日(木)～令和6年6月20日(木) 毎週木曜日の全44回
午前9時～午後4時

3. 研修内容

露地野菜等に関する基礎知識・技術についての講義及び実習(詳細は裏面参照)

4. 受講料

無料

※ただし、傷害保険、教材、生産資材等に係る経費は、受講者負担となります。

5. 募集期間

令和5年6月12日(月)～令和5年7月28日(金)【必着】

6. 定員及び面接

10名程度 ※面接により研修受講生を決定します。
面接日:令和5年8月9日(水)

7. 応募資格

県内で就農を希望する方で、下記のいずれかに該当し、全期間を通して受講可能な方
※就農に向けて基礎知識・技術の習得を目指す方
※定年帰農等を志向する方
※その他、農業大学校長が認める者

8. 応募方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、郵送・FAX・メールで送付してください。
*申込書は、農業大学校ホームページよりダウンロードできます。

〒899-3311 鹿児島県日置市吹上町和田1800番地

鹿児島県立農業大学校農業研修課 まで

TEL 099-245-1074 FAX 099-296-6352

E-mail nodaikyo@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島農大

検索

各種病害虫の対策について

【トビロウンカ】

イネ科植物の株元を吸汁することで被害が発生し、ひどいときは**坪枯れ**を起こすトビロウンカが例年よりも飛来量が多くなることが予測されますので、早期発見・防除に努めてください。



移動型



定着型



本虫が起こした被害

【トビロウンカの対策】

- ・**育苗期の防除**→防人箱粒剤、スクラム箱粒剤等を施用
- ・**本田での防除**→スタークル粒剤等の薬剤散布

【トマトキバガ】

トマト、ナス等のナス科植物とマメ科のインゲンマメに被害を与えるトマトキバガが九州管内のハウス内で確認されました。侵入・被害防止に努めてください。



成虫



幼虫



幼虫の食害による被害痕（果実）

【トマトキバガの対策】

- ・ハウスの侵入を防止しましょう
- ・ハウスの見回りをしたり、フェロモントラップを設置したりしましょう
- ・食害を受けた葉や果実が発生した場合は、除去してビニール袋に入れて密封するか、ハウス内で土中深くに埋設しましょう

発生が疑われる場合は鹿児島県病害虫防除所にご連絡をお願いします。(TEL 099-245-1157)

さつまいも基腐病対策について（7月～8月）

発生の有無にかかわらず、引き続き持ち込まない、残さない、増やさないことをよろしくお願いします。また、フロンサイドSCがさつまいものほ場に使えるようになりました。**植え付け前の土壌混和**と二次感染予防として**つるが畝間に降りる前**に使えます。

【7～8月の主な対策】

- ①定期的にほ場を巡回し発病株を**早期に抜き取り**
- ②基腐病予防のため**定期的な予防散布**
- ③ほ場の**排水対策**

フロンサイドSCの使用方法和適用基準について

【植え付け前の土壌混和】

作物	適用病害虫名	10a当たりの使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量			
かんしょ	基腐病	500ml	50～200L	植付前	1回	全面散布 土壌混和
						全面土壌散布

【蔓が畝間に降りる前】

作物	適用病害虫名	希釈倍数	10a当たりの使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
かんしょ	基腐病	1000倍	100～300L	収穫の30日前まで	2回以内	散布

フルアジナムを含む農薬の総使用回数

3回以内
(植付前は1回以内、植付後は2回以内)